

【介護老人保健施設の理念と役割】

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供すると共に、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

1階 リハビリ 佐々木 衣織

1月12日に新年会を実施しました。

今年も感染予防の為、通所や入所の利用者皆様が参加しての餅つきは実施できませんでしたが、お汁粉作りを利用者の方々に手伝っていただきました。

機械でついた餅を小さくちぎる作業を利用者の皆様に行っていただき、参加された方々は丁寧に集中し作業されていました。中には手際よくすすめられ、あっという間に作業を終える方もいらっしゃいました。男性の利用者も参加され、「初めてやったけど楽しかった」との感想も聞かれました。

来年度も感染予防に配慮しながら、利用者の皆様に楽しんでいただける行事を企画し、行っていききたいと思います。



2階 介護 小松 大輔

今年の冬は春のように暖かかったり、翌日には冬の寒さが戻ったりと、天候の変わりやすい日が続いています。ご家族の皆様も風邪などをひかないようお気を付けください。

さて当施設では2月2日に一日早い節分の豆まきを行いました。鬼に扮したスタッフが各フロアを周り、利用者の方々は豆の代わりにお手玉を投げて鬼を追い払い、無病息災を願いました。昼食には節分御膳、おやつには甘納豆を食べ、節分を堪能していただきました。





3階 看護 伊藤 友春

徐々に日は長くなってきましたが、朝晩はまだ気温が低く、3月に入り突然の降雪など寒い日が続いています。気温の変化により、体調を崩しやすい時期です。利用者の皆様には元気に春を迎えていただけるよう、日々の変化に気を配りながら体調管理に努めています。

まだまだ新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症は流行していますので、ご家族の皆様も体調を崩されることのないようご自愛ください。

相談室 佐々木 祥子

当施設では、年度初めに家族構成・緊急時の連絡先を確認させていただいております。同封の用紙に家族構成・緊急時の連絡先をご記入の上、3月31日(日)まで、窓口にご提出下さい。

また、ご家族の状況に変化がございましたら、その都度ご連絡下さい。ご協力よろしくお願い致します。



【面会方法の変更について】

面会時間の重複による待ち時間の短縮とインフルエンザ等の感染防止のため、1月より面会は全て予約制とさせていただいております。お手数ですが面会をご希望の方は、事前に日時をご連絡いただき面会の可否をご確認下さい。

ご家族の皆様にはご不便をおかけしますが、スムーズな面会による利用者様の負担軽減と感染防止の為、何卒ご協力いただきますようお願い致します。



【面会についてのお知らせ】

現在面会は全て窓越し、またはタブレットでの面会となります。一度の面会者数は2名迄、また面会時間は主旨10分程度とさせていただいております。

面会時はマスク着用と手指消毒をしていただき、小学生以下(小学生を含む)や体調不良の方(下痢、風邪症状のある方や37.5℃以上の方)は、面会を御遠慮いただいております。なおインフルエンザ等の感染者数増加や感染の拡大状況によって面会を全面的に中止させていただくこともございますので、ご了承ください。

○お問い合わせ先

介護老人保健施設「しょうわ」

0184-23-7100 (代)